

## 2015 初秋 燧ヶ岳から尾瀬沼



長英新道から尾瀬沼

記録 福澤 卓三

日時 : 2015年10月3日(土)~5日(月)

メンバー : L福澤卓三、鈴木輝明、田中利美

コースタイム :

10月3日(曇り)

埼京線板橋駅(11:00)ー西那須野IC(13:00)ー桧枝岐キリンテキャンプ場 (15:00)

10月4日(雨曇り) (尾瀬街道オートキャンプ場)

キリンテ・キャンプ場(5:15)ー御池駐車場(5:40)ー熊代田代(8:00)ー燧ヶ岳(9:50ー

10:40)ー長英新道経由ー尾瀬沼ビジターセンター(14:00ー14:30)ー沼山峠(15:35ー

16:00)ー御池(16:15)ー桧枝岐キリンテかわばたオートキャンプ場(16:30)

10月5日(曇り) キリンテかわばたキャンプ場(9:00)ーJR板橋(15:00)

10月3日(土)

東北道の西那須野ICまで2時間でついた。国道400号から352号へ。桧枝岐は子供と姫オオクワガタを採取にきたりしていたのでなつかしい。途中の土産物や山菜など売っている店でおいしいキノコ汁などごちそうになりながら4時間で桧枝岐のキャンプ場についた。桧枝岐のスーパーで食材を買い込み、快適なバンガローで食事をつくりながらビールで軽く一杯。



今宵はすきやき



バンガローの前のテラスで

なんと夜はとふとんで寝られた。しかも断熱シートまで用意してあった。山男は何か悪いことでもしているような気持ちになり、こんなことして、いいのかなーなんて思ってしまう。村営の温泉が3か所もあり、そのうちの燧ノ湯にはいった。広くて適温でいい温泉である。

10月4日(日)

昨夜は山頂にいるような満天の星空だったのに朝の空模様がおかしい。身支度を整え出発。御池の駐車場は広い。早いせいもあり、好きなところにとめられた。駐車場の奥が登山口である。雨具を出しての登りだとは思わなかった。登山道には水がちよろちよろ流れているところもある。



熊代田代(1986m)

横須賀山岳会の例山行に、当然尾瀬の計画はなく、一度来てみたいと思っていた。ようやく念願がかない、楽しみにしていたのに残念である。2ピッチ程で登りが緩やかになり、視界が開けると、そこが熊代田代である。ガスが流れたり、きれたりしている。初夏にきてみたら、きっと良いところだろう。風もあり寒い。もうここは秋の山であるが、本格的な紅葉はもうすこし先である。

ここから2ピッチ弱で三角点の俎嵯(まないたぐら)についた。



俎嵯(まないたぐら)山頂



俎嵯(2346m)山頂

しかし最高到達点はここから20分先にある柴安嵯(しばやすくら)(2356m)である。いったん下って、登りなおしたさきにある。



燧ヶ岳山頂(2356m)(柴安嵯)



燧ヶ岳山頂(柴安嵯)(最高到着点)

登り最高到達点はここから20分先にある柴安嵯(しばやすくら)(2356m)である。いったん下って、登りなおしたさきにある。俎嵯(まないたぐら)には60人ほどいた。尾瀬沼はガスに隠れて見えない。尾瀬ヶ原は、2秒ほどガスが切れた時に見えた。下りのルートは温泉小屋道も見晴新道も、崩壊して通れないことがわかった。ナゲツ窪新道は尾瀬沼を見るには良いが、石ころが多くよいルートではないということで燧(長英)新道を下ることにした。この登山道はよいルートである。下り始めくらいからガスがきれてきた。尾瀬沼が見えだした。これが尾瀬沼かと思った。いままで何人の人の心を癒してきたのだろう。



下山道のナゲツ窟と長英新道分岐



長英新道の色づき始めた木々



ななかまどが赤い実をつけていた



紅葉した木がきれいだった

下山する途中にすれ違った土地の人が、このルートが最後まで残り、一般的なルートになるだろうと言っていた。道が緩やかになり、浅湖湿原がみえだしてここを通過。



尾瀬沼ビジターセンターでコーヒーが飲みたくなったのでよってみた。太陽が出てきて気持ちがよかった。時間も余裕があり、ゆっくりできた。沼山峠までは登って少し下る。到着する少し前にバスが出てしまったが、次のバスが何本かありのんびりできた。バスは紅葉がきれいなところで徐行してくれた。御池からキリンテの、かわばたオートキャンプ場へ無事ご帰還。



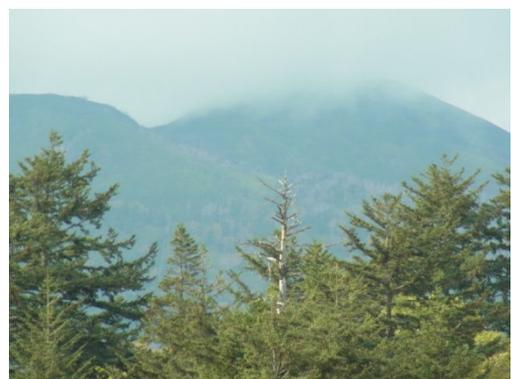
ビジターセンター



大江湿原のブナ林の紅葉



黄色になり始めたブナの木



大江湿原より燧ヶ岳



ストーブにまきをいれている(バンガローで)



なにしに来たのやら